

研究戦略センターの設置及び同センター発足記念シンポジウムの開催について

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構は、設立から10年の節目にあたり設置した「機構のあり方検討委員会」のシンクタンクとして今後10年を見据えて取り組むべき方向性に関する平成27年12月の提言や、兵庫県が平成29年3月に策定した最終2カ年行革プランにおいて、相互に関連する研究調査と学术交流の両事業の連携強化を図るため、組織再編を検討することが求められました。

これを踏まえ、平成29年4月に研究調査本部と学术交流センターを統合し、新たに「研究戦略センター」を設置することにより、「人と防災未来センター」、「こころのケアセンター」と並ぶ3センター体制のもと、研究・発信力の強化に取り組みます。

研究戦略センター長には、御厨貴東京大学名誉教授を迎え、機構がこれまで培ってきた県内外の研究者や研究機関との知的ネットワークを生かしながら、先導的な研究を戦略的にコーディネートすることにより、マスメディア等とも連携を図りつつ、震災の経験と教訓を踏まえた「安全安心なまちづくり」や「共生社会の実現」に資する成果を全国へ積極的に発信します。

また、同センターの発足を記念したシンポジウムを4月25日に開催します。

記

1 名称

研究戦略センター

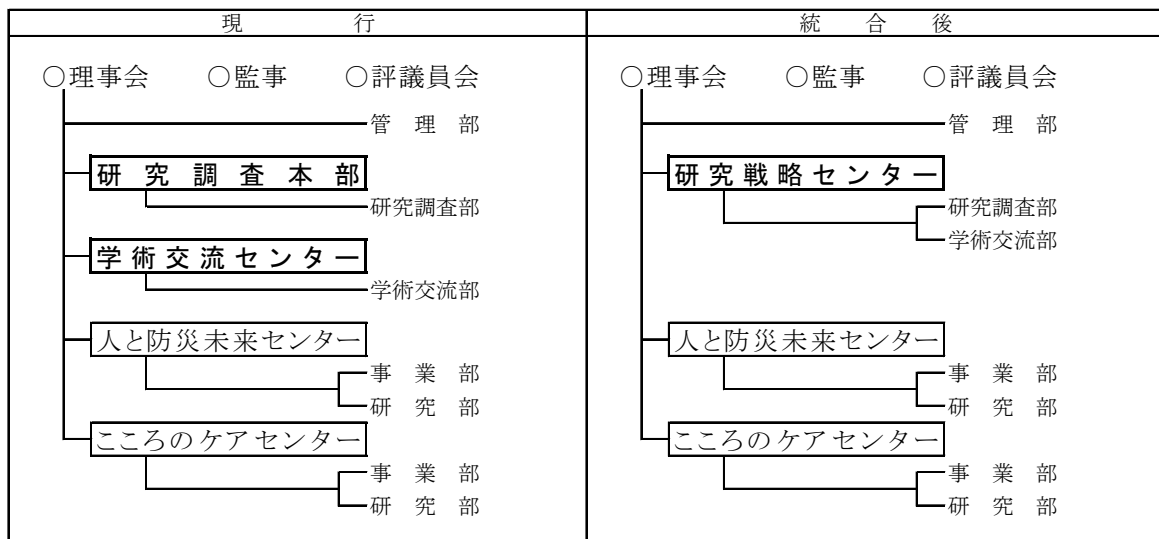
2 研究戦略センター長

御厨 貴 東京大学名誉教授 (略歴は別紙のとおり)

3 設置日

平成29年4月1日

4 組織図



5 「研究戦略センター発足記念シンポジウム」の開催

研究戦略センターの発足を記念し、21世紀の安全・安心な社会づくりについて考えるとともに、次なる10年を視野に当機構のめざすべき方向について認識を深めるため、シンポジウムを開催します。

日 程：平成29年4月25日（火）13：30～16：30（12：30開場）

会 場：兵庫県公館 大会議室

テーマ：「災害多発時代を生きる～21世紀の安全・安心な社会をめざして」

募集定員：300名（参加無料・要申込・先着順）

プログラム：①記念講演（13：40～14：25）

『「災後」の文明について考える（仮題）』

御厨 貴 当機構研究戦略センター長、東京大学名誉教授

②パネルディスカッション（14：40～16：30）

コーディネーター 五百旗頭 真 当機構理事長

パネリスト 御厨 貴 当機構研究戦略センター長

河田 恵昭 当機構人と防災未来センター長

室崎 益輝 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授

重川 希志依 常葉大学教授・大学院環境防災研究科長

申込方法：4月18日（火）までにFAXまたはE-mailで申込

FAX：078-262-5122 または E-mail：gakujutsu@dri.ne.jp

研究戦略センター長 (平成29年4月1日就任)

御 厨 貴 (みくりや たかし)

東京大学名誉教授 65歳 東京生まれ



【主な経歴】

東京大学法学部卒業

専門は近代日本政治史、オーラル・ヒストリー。

東京都立大学教授、政策研究大学院大学教授、東京大学先端科学技術研究センター教授、放送大学教授などを歴任し、現職。

これまで、東日本大震災復興構想会議議長代理、くまもと復旧・復興有識者会議座長代理、天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議座長代理等を歴任。

著書に『「戦後」が終わり、「災後」が始まる。』（千倉書房）、『戦後をつくる—追憶から希望への透視図』（吉田書店）など

【当機構との関わり】

2012～2015年度 政策コーディネーターに就任

研究テーマ：大震災復興過程の比較研究

～関東、阪神淡路、東日本の三大震災を中心に～

2016年度 研究統括に就任